

1. 基本情報

- (1) 国名：コートジボワール共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アビジャン
- (3) 案件名：アビジャン国際空港保安強化計画（The Project for the Improvement of Aviation Security at Abidjan International Airport）
- (4) 計画の要約：本計画は、アビジャン国際空港において空港保安機材を整備することにより、テロ対策及び航空輸送の安全性の強化を図り、もってコートジボワールの安定化及び経済成長の加速化に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

コートジボワールは、西アフリカ 8 カ国が加盟する西アフリカ経済通貨同盟（UEMOA）経済の 4 割を占める西アフリカ地域の主要国であり、また西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）経済圏の安定・発展・地域統合の鍵を握るという重要性に鑑み、戦争からの復興期にある同国への支援を通じ、社会安定、国家機能向上、格差是正、経済成長を推進する必要がある。我が国は、2016 年 7 月の国連安保理公開討論において、アフリカのテロ対策のため 3 年間で 3 万人の人材育成を含む約 1.2 億ドル（約 140 億円）の支援をしていくことを表明した。また、2016 年 8 月の TICAD VI では、ナイロビ宣言の 3 つの優先分野のひとつである「III 繁栄の共有のための社会安定化」につき、アフリカの平和と安定の実現に向けた基礎作りに貢献していくことを表明しており、本計画は、これらの方針を具体化するものとして外交的意義を有する。

また、2018 年 1 月にアビジャンで発表された西アフリカ「成長の環」マスタープランにおいては、セキュリティ対策の強化、国境を越えた経済活動の推進、域内の連結性の強化を含む同地域の広域開発を目指しており、本計画の実施意義は高いと言える。

- (2) 当該国における航空セクター現状・課題及び本計画の位置付け

経済都市アビジャンに位置するアビジャン国際空港は、西アフリカの国際ハブ空港として機能しており、欧州、中東、北アフリカ、東アフリカ、南アフリカ、西アフリカ諸国との間に週約 500 便の定期航空便が運航している。年間取扱旅客数は、同国の経済成長を反映して、2011 年の 640 千人から 2016 年には 1,829 千人に急増している。また、2018 年 5 月に米国行の直行便も就航し、旅客数は今後も一層増加することが見込まれる。一方、同国では 2016 年にアビジャンの西 30 キロ程に位置するリゾート観光地のグランバッサムでテロ事案が発生し、欧米人を含む 19 人の犠牲者が出ており、国境管理の強化や港湾・空港等の近代化等によるテロとの戦いは同国及び同地域における最優先課題の一つとなっている。

このように同国際空港の国際ハブ空港としての役割が増大し、保安対策強化が重視される中、同空港においては、旅客、手荷物等の保安検査能力の強化が喫緊の課題である。また、空港への不審者の侵入や違法行為の発生を監視するシステムの改善も必要である。これらの問題に対し、テロ行為に対するリスクを低減する対策として、国際的な水準の保安

機材の導入が早急に求められている。

上記状況を踏まえ、同国政府は国家開発戦略の最上位計画である「国家開発計画（2016年-2020年）」において、平和と治安、国民和解と社会の調和、及び危機後の経済復興に取り組んでおり、「国土と環境保全と調和したインフラ開発」を重要戦略の一つに掲げている。同戦略において、セキュリティ強化等を含む同国際空港の近代化に取り組むことを優先プロジェクトの一つに位置付けており、本計画は、本戦略・方針に基づくものである。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【機材】受託手荷物検査装置（2台）、機内持込手荷物検査装置（5台）、旅客検査装置（2台）、航空貨物検査装置（1台）、CCTVカメラ監視システム（一式）等

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理。ソフトコンポーネントについては協力準備調査にて確認する。

ウ) 調達方法：現地調達可能な機材以外は本邦／第三国調達を想定。詳細は協力準備調査にて確認する。

② 期待される開発効果：受託手荷物及び機内持込手荷物並びに航空貨物のうち、国際的要件に基づく検査を行ったものの割合が増加する。

③ 計画実施機関／実施体制：コートジボワール民間航空庁（Autorité Nationale de l'Aviation Civile, ANAC）

④ 他機関との連携・役割分担：特になし。

⑤ 運営／維持管理体制：空港の運営及び空港の保安検査の実施は民間企業に委託して行われているが、必要な機材調達、航空保安管理の実施状況にかかる監督を ANAC が行っている。詳細は協力準備調査で確認する。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮のカテゴリ分類：C（「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限と判断される）
- ジェンダー分類はGI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）に該当するが、調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ネパール連邦民主共和国「トリブバン国際空港近代化プログラムにおける航空管制設備改善計画」（1999年-2001年）の評価結果等では、運営維持管理に係る実施体制の構築の重要性及び調達プロセスにおいて、当該事業に関わるアフターサービス体制の確保の重要性が示唆されている。本計画では、コートジボワール側の維持管理体制及び機材の部品入手性などに十分留意し、必要に応じ、スペアパーツの配備を検討する。また、調達プロセスにおいて、機材納入企業のアフターサービス体制を十分に確認する。

以 上

〔別添資料〕地図

アビジャン国際空港保安強化計画 地図

